ヘリコプタ甲板及びヘリコプタ着船場所に要求される泡消火装置に関する事項

改正規則等

鋼船規則 P 編, PS 編及び R 編
鋼船規則検査要領 B 編及び R 編

改正事項

ヘリコプタ甲板及びヘリコプタ着船場所に要求される泡消火装置に関する事項

改正理由

IMO では, ヘリコプタが臨時又は緊急時にのみ着船するヘリコプタ着船場所に追加の消火設備を備えることや, ヘリコプタ甲板及びヘリコプタ着船場所に設置される泡消火装置の性能基準に関して議論を行ってきた。

その結果, 2016 年 5 月に開催された IMO 第 96 回海上安全委員会 (MSC96) において, ヘリコプタ甲板及びヘリコプタ着船場所の泡消火装置の仕様等を規定する火災安全設備コード (FSS コード) 17 章が決議 MSC.403(96) として採択された。また, これを強制化する SOLAS 条約及び MODU コードの改正が MSC.404(96) 及び MSC.407(96) として併せて採択された。加えて, ロールオン・ロールオフ旅客船に設置が要求されるヘリコプタ着船場所について, FSS コードで要求される泡消火装置の搭載を求めるよう MSC.1/Circ.1524 が承認された。

このため, 決議 MSC.403(96), MSC.404(96), MSC.407(96) 及び MSC.1/Circ.1524 に基づき, 関連規定を改めた。また, FSS コード 17 章のうち, 不明確となっている箇所に対する本会の取り扱いを併せて規定した。

改正内容

- (1) ヘリコプタが臨時又は緊急時に着船を行う「ヘリコプタ着船場所」及び着船せず吊り上げ作業を行う「ウィンチング場所」の定義を規定した。
- (2) ヘリコプタ甲板及びヘリコプタ着船場所に要求される泡消火装置に関する FSS コードの要件及び本会の取り扱いを規定した。
- (3) 泡消火装置に対する具体的な高さの範囲を規定した。

改正条項

鋼船規則 P 編 15.2.13
鋼船規則 PS 編 6.4.5, 7.6.1
鋼船規則 R 編 3.2.55, 3.2.56, 18.2.1, 18.5.1, 37 章 (新規)
鋼船規則検査要領 B 編 B2.1.4
鋼船規則検査要領 R 編 R15.2.3, R37 (新規)